

## 野党共闘実現は共産党の決断があつてこそ 生活の党小沢代表発言—このたたかいに確信

6月14日、香川県高松市で行われた4野党合同街頭演説で、生活の党の小沢代表が野党共闘の意義と、その中で共産党の奮闘に言及しましたので、紹介します。

### 安倍政権を退陣させようと思う人が手を組むことは不思議でない

小沢氏は冒頭、「久しぶりの高松ですけども、これまでの中で、こんなに多くの方が、この雨模様の中で足を運んでくれたこの街頭演説会は、初めての経験でございます。本当にみなさんありがとうございます」とあいさつ。「私も小さい所帯ながら、なんとしてもなさんと力を合わせて頑張ろうということで、地元でも各地域でも、選挙戦頑張ろうと決意いたしているところでございます」と決意を述べました。

小沢氏は共産党との共闘について、「私は保守本流の中の一人です。なぜそのお前が、こうして4党、そして志位委員長と一緒に頑張っているんだ(という意見もある)」と紹介したうえで、「そういう人達に対して私は、そんならあなた方はこんな無茶苦茶な、国民のくらしも命も見向きもしない、そして国の将来を危うくするようなこんな安倍政権でいいのかと言いますと、いやーそりゃだめだ。だめだと言って言んならば、お互いにこんな安倍政権は退陣させよう、そういう思いの人たちが手を組んで頑張ることは何の不思議もないじゃないか(と言う)」と述べ、「多くの国民の理解と納得のもと、私はこの選挙戦をたたかっていけると確信している」と力強く語りました。

### 共産党の歴史的な決断に感動

小沢氏は4野党プラス市民の体制ができたことについて、「本当に共産党の志位委員長の大きな決断の結果なんです」と発言。「(これまでの方針を変えて)他の31の(定数1の)選挙区では共産党が予定していた候補者も辞退して、そして統一候補を擁立することに協力いたしたわけでありませう。私はこの歴史的な決断に本当に感動しました」と述べました。

小沢氏は、志位委員長や市民が野党の候補者を統一してがんばると決断した背景には、自民党の本流からも外れる安倍政権への危機感があるのだと述べ、「多くの方々にこの気持ちを、みなさんの気持ちを伝えてですね、選挙戦に臨んでいただきたい」と訴えました。

### 参院選勝利で安倍政権退陣へ

小沢氏は、4野党プラス市民が勝利し過半数をとれば「安倍政権はもちろん退陣、そして自民党政権もわれわれの言うことを聞かざるを得なくなります」と今回の参院選の意義を語り、最後に「本当に本当に大事な選挙でございますので、最後の最後までみなさんの力を結集して、どうかこの香川県で田辺候補をみなさんの力で国会に送っていただきますよう、お願い申し上げます」と訴えました。

以上